

全裸の遺体発見 日本女性を狙う

バリ島ジゴロの凶悪手口

元地元捜査官が指摘



荒木氏

バリ島で多発する日本人女性を狙う事件の背景とは――。

インドネシアのバリ島で今年2件目となる日本人女性の殺害事件が起き

た。バリ島中部クタ地区の住宅で26日、現地在住の島田裕美さん(41)が殺されているのが見つかった。島田さんは全裸で両足首を縛られた状態で見つかった。腹部などへの複数の刺し傷があり、致命傷になったとみられる。現場には使用済みのコンドームもあった。バリでは今年9月にも

ヤク漬けにされて...

旅行者の佐野理香さん(33)がインドネシア人の男に殺害される事件があった。10年前に現地のバリ警察に所属していたことがある米国FRP連邦捜査官の荒木秀一氏(45)は「観光地のバリ島は、キレイでミステリアスの良いイメージがあるが、裏では隠れた危険が潜んでいる」と指摘する。

日本人女性が事件に卷

金引き出せなくなったらポイ捨て

き込まれるケースは大半がインドネシア人ジゴロ絡みだ。

「ジゴロの間で日本人女性には完全にターゲット。ジゴロ狙いの日本人中年女性による買春ツアーもあるため、金を持っていて、簡単に股を開くというレッテルを張られている」(荒木氏)

一夜のロマンスならまだしも強盗や結婚詐欺などのトラブルが絶えないという。

「ジゴロにナンパされた日本人女性が酒に薬物を入れられ、ヤク漬けで監禁されていたところを助けたことがある。貧乏だから援助してくれと同情を誘い、その後不動産

を買わせ、金を引き出せなくなったら開き直って殺してしまうケースもある。薬物が絡むと泣き寝入りし、表さたにならないことも多い。凶悪事件は年に100件はあるはず」と荒木氏。

また現地には米軍キャンプがあり、米兵による犯罪も多発しているという。「レイプや暴行などやりたい放題で警察も見えぬふりをする。日本人女性は危機意識を持たないといけない」(荒木氏)。年末年始にはバリ島に多くの日本人旅行者が訪れる。現地の日本総領事館も注意を呼びかけている。

(小林宏隆)